



平成 25 年 2 月 8 日  
港湾局産業港湾課

**国際航路協会（PIANC）の最優秀論文賞を我が国が初めて受賞  
— 津波に対する防波堤の強化に関する研究が国際的な評価 —**

去る 1 月 31 日に開催された国際航路協会（PIANC）執行委員会において、若手最優秀論文賞である De Paepe - Willems 賞を日本からの応募論文が受賞することが決定しました。この賞は、PIANC が年に一度技術的に最も優れた論文を選定し表彰するもので、我が国からの論文が受賞するのは今回が初めてであり、アジアでも初となる快挙です。

De Paepe - Willems 賞は、論文投稿を通じて世界各国で活躍する若手技術者（40 才未満）を育成することを目的とし、1985 年に PIANC が制度を創設したものです。

受賞論文は、国際航路協会日本部会（PIANC-Japan）より公表されていますのでお知らせします。（国際航路協会日本部会 HP：<http://www.pianc-jp.org>）

<参考>

国際航路協会（PIANC（注））は 1885 年に設立された国際的な港湾・内陸水路に関する技術基準を定める国際機関であり、国連の諮問機関にも指定されています。国際的に著名な港湾・水路に係る 2,000 人の技術者、500 団体が会員となっています。なお、PIANC の日本政府首席代表は国土交通省港湾局長であり、PIANC 副会長は日本から輩出しています。

（注）国際航路協会（PIANC）は 1998 年度年次総会を経て、その正式名称を従来の“The Permanent International Association of Navigation Congress”から現在の名称“The World Association for Waterborne Transport Infrastructure”に変えた。しかし、永年親しまれてきた旧称の PIANC はそのまま協会の通称として使用し続けることとされた。

**【問い合わせ先】**

国土交通省港湾局産業港湾課 国際企画室 村岡・對木(窓口)

03-5253-8111(内線 46464)、03-5253-8679(直通)、fax 03-5253-1651